

開催日時・会場

平成26年2月14日(金)～15日(土) 全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市)

参加者数

10名 (自治体職員5名、NPO等参加者5名)

研修概要

概要: 地域課題を参加者間で共有し、代表的な課題をケーススタディとして取り上げ、その解決策をグループワーク形式(1グループ5名)で討議し、プレゼンテーションを行った。

対象 ・市区町村等職員+地域づくりに取り組むNPO関係者等の2名1組で参加
・2名のうち1名は、「地域づくり人育成講座」または「全国地域づくり人財塾」もしくは平成24年度「『域学連携』地域づくり人育成支援事業」の各講座の受講者であること

参加者の構成

- ・ 岐阜県養老町 自治体職員+NPO職員
- ・ 山口県周南市 自治体職員+地域おこし協力隊
- ・ 山口県周南市 自治体職員+公益財団法人職員
- ・ 佐賀県江北町 自治体職員+NPO職員
- ・ 愛媛県 自治体職員+NPO職員



研修を振り返って

【受講生の声】

(研修全般)

- ・ 少人数でじっくり課題に向き合い、解決策を得られたので良かったです。
- ・ 各地の事例から今後の地域づくりのヒントがもたらえた。
- ・ 2泊3日でも良いくらいである。(多数)

(今後の研修について)

- ・ 企画のプレゼンに必要なスキルを学ぶような講座。
- ・ フィールドワークや地元住民との意見交換。
- ・ 実際のプランについて議論するもの。



「全国地域づくり人財塾（課題解決編（フィールドワーク型））」の開催について

開催日時・会場

平成26年3月14日(金)～16日(日) グリーンパーク山東(滋賀県米原市)

参加者数

13名（自治体職員9名、NPO等参加者4名）

研修概要



大野木長寿村まちづくり会社

概要:フィールドワークとして、実際に大野木地域、上丹生集落に赴き、地域の取組を関係者から伺うとともに、上丹生集落の地域課題についてグループワークで課題解決策について話し合い、プレゼンテーションを行った。
地域課題を参加者間で共有し、代表的な課題をケーススタディとして取り上げ、その解決策をグループワーク形式(1グループ6名)で討議し、プレゼンテーションを行った。

対象:①平成23～24年度「地域づくり人育成講座」、平成25年度「全国地域づくり人財塾」及び平成24年度「『域学連携』地域づくり人育成支援事業」の各講座の既受講生
②自治体職員及び地域づくりに取り組むNPO関係者等の皆さま(上記の各講座の既受講生でなくとも参加可能)

参加者の構成

・青森県弘前市
・千葉県山武市
・岐阜県垂井町
・滋賀県
・滋賀県米原市
・滋賀県長浜市

自治体職員
自治体職員2名
嘱託職員
自治体職員
自治体職員
NPO職員

・京都府京丹後市
・岡山県総社市
・高知県
・高知県田野町
・大分県竹田市

自治体職員
NPO職員
自治体職員
地域おこし協力隊
自治体職員2名



上丹生ふるさと絵屏風



上丹生地区(現地視察と課題解決提案のグループワーク)